

2026年度 北海道科学大学 入学試験問題の出題意図

選抜区分名	一般選抜〔後期（学力型）〕
科目名	国語

問題全体の出題意図

AIと脳のしくみに関する文章を題材として、基本的な読解力を問う問題です。
比較的平易な文章ですが、脳やAIに関する専門用語を読み取りながら内容を把握することが求められます。
専門分野を学ぶ上で必要な基礎学力をはかるために、以下のような意図をもって出題しています。

問題一

大問番号	出題意図
問一	漢字を正確に読み書きする能力をみます。
問二	文章を理解したうえで、前後の文脈に沿って、接続詞などを的確に選択する能力をみます。
問三	記述問題です。 筆者の主張を読み取り、指定された字数内でまとめる能力を問います。
問四	文中の内容と合致しない文章を選ぶ問題です。 文章の内容を正しく把握する能力を問います。
問五	本文から抜き出した1文を戻す場所を選ぶ問題です。 抜き出した文章の内容、および素材文全体を通して、文脈を読み取る能力を問います。
問六	筆者の主張「間違っている。」の理由を、文章内から正しく読み取る問題です。 筆者の主張を正しく把握できているかどうかを問います。
問七	本文全体を通して、内容が合致する要約を選ぶ問題です。 文章全体の内容を正しく読み取れているかどうかを問います。

2026年度 北海道科学大学 入学試験問題の出題意図

選抜区分名	一般選抜〔後期（学力型）〕
科目名	国語

問題全体の出題意図

現代において、倫理的に善くあることが幸福に繋がるわけではありません。むしろ、本文中にもあるように、倫理や道徳に縛られず行動する人の方が得をし、はたから見たら幸せそうに見えることもあります。このような状況において、これまで教わってきた倫理や道徳、いわば前提や当たり前のことを問い直す、というメタ的な視点をもつことは、学術的な学びにおいても、日常的にも求められているように思います。

入門書という性質上、難解な言葉はありませんが、前提や当たり前のことを疑うという受験生には目新しい視点を中心に問うことによって、大学において求められる主体的／能動的な学びへの適応性と学術的な思考が可能かどうかを試すことが本問題の狙いです。

問題二

大問番号	出題意図
問一	カタカナで書かれた語句の適切な漢字表記を問う問題です。語彙力をはかりました。
問二	文脈に合う接続詞・副詞を選択する問題です。語彙力および読解力をはかりました。
問三	主題である「メタ倫理学」を本文から抜き出す問題です。何を主題とした文章なのかを把握できているか問うことにより、読解力をはかりました。
問四	Why be Moral問題に関する説明を適切に把握する問題です。この問題を通して、筆者の主張を読み取れているか問うことにより、読解力をはかりました。
問五	倫理や道徳を考える際には、ある事柄が倫理的に/道徳的に善いか悪いかを問うことが一般的ですが、ここでは、ある事柄に「道徳的に」という語が適用できる規準は何かというメタ的な観点で問うています。メタ的な問いに対する筆者の解説を説明させることによって、読解力をはかりました。
問六	本文中で抜けている文章を正しい箇所に戻す問題です。抜けている文章と本文内容を読み比べ、文脈を正しく捉えて論述の過程を把握する力を問うことにより、読解力をはかりました。
問七	本文の内容と合致するものを選ぶ問題です。本文全体の構造や論旨を適切に読み取れているかを問うことにより、総合的な読解力をはかりました。